

## T シャツスポンサーご協賛のお願い

Japan Wagamama Awards 実行委員会  
IRODORI 株式会社 取締役  
永井 彩華

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。このたび、Japan Wagamama Awards2025 で選出された学生たちが 2025 年 7 月に米国マサチューセッツ工科大学 (MIT) で開催される MIT AI Education Summit にて、アプリのプレゼンテーションを行うことが正式に決定いたしました。つきましては、そのプレゼンテーション時に着用する T シャツに、スポンサー企業様のロゴを掲載する形でのご協賛をお願い申し上げます。

### ■ MIT AI Education Summit とは

マサチューセッツ工科大学 (MIT) の AI・教育分野の専門家や実践者が集まり、次世代の学びのあり方について議論・共有する国際的なイベントです。世界各国の学生・教育者・研究者が参加し、AI を活用した教育の先進的な取り組みや事例が紹介されます。

Japan Wagamama Awards のグランプリ受賞者たちは、このサミットにおいて、自ら開発したアプリを英語でプレゼンテーションします。現地での発表は、若者たちが「たったひとりのワガママ」を起点にした挑戦を世界に向けて発信する貴重な機会となります。

### ※「ワガママ」の言葉の定義について

私たちは“ワガママ”を、日々の生活の中であきらめていることや我慢していること、「ほんとうはこうなったらいいな」と思っているけれど、胸の内に秘めた願いを指しています。

### ■ ご協賛内容

ご協賛金額： 15 万円 (税込)

募集企業数： 限定 3 社様 ※残り 2 枠

ロゴ掲載箇所： T シャツ正面 (3 ページ目の写真参照)

## ■ 着用予定

- ・ MIT AI Education Summit (2日目) での着用、プレゼンテーション時
- ・ MIT 帰国後に開催予定の報告会
- ・ SNS 投稿、プレスリリース、公式報告書での企業名掲載
- ・ 地元・全国メディアによる写真掲載予定 (例：下野新聞、NHK 北海道ほか)

※メディア報道に関しては、グランプリ受賞者が北海道と栃木県在住の中学生のため、特に2道県の地元新聞社やテレビ局で発信される可能性が高いです。

## ■ ご協賛のお願いに込めた想い

この MIT への挑戦を、地元企業の皆さまとともに応援したい。「栃木から世界へ」挑む学生たちのユニフォームとなる T シャツに、地域の皆様の力をのせたい。そんな思いから、初めての T シャツスポンサー企画を立ち上げました。初めての取り組みにも関わらず応援いただいた皆様にとって、やってよかったと思っていただけるよう工夫して参ります。

## ■ お申し込み方法

以下フォームよりお申込書にて、必要事項を記載いただき PDF にてご提出ください。

## ■ お申込み後の流れと実施内容

お申込書をご提出いただいた後は、以下の流れを予定しています。

※T シャツ制作の都合上、お申込書の締切を7月8日(火)、企業ロゴの提出締切を7月9日(水)とさせていただきます。

### 1. ご請求書の発行

お申し込み確認次第ご請求書を発行いたします。お振込期限は7月11日(金)となります。

### 2. ロゴデータのご提出 (最終締切：7月9日)

ご協賛決定後、T シャツデザインや各種広報で使用するためのロゴデータをご提出いただきます。できる限り PNG 形式 (背景透過) でのご提出をお願いいたします。

AI または PDF データも併せてお送りいただけますと、最終調整がしやすくなります。

### 3. ワガママ Lab 関係ホームページ・SNS にてスポンサー公開

ロゴ・企業名を以下にて公開いたします。投稿内容は事前にご共有いたします。

- ・ Japan Wagamama Awards 公式ホームページ内のスポンサー欄
- ・ Instagram、Facebook、などの SNS 投稿内
- ・ プレスリリース（必要に応じて）

### 4. T シャツデザインの決定

いただいたロゴをもとに、こちらで MIT 登壇用 T シャツのデザインを作成します。

配置場所・サイズ等について、簡単なレイアウト案をご確認いただく場合がございます。

### 5. T シャツ制作・MIT での着用・撮影

完成した T シャツを MIT に持参し、MIT AI Education Summit の会期中（3 日間）に学生が着用します。

登壇シーンの写真・動画は、メディア露出や SNS 発信、後日報告資料にも使用されます。

### 6. プレゼンテーション写真・記録のご共有

MIT 現地で撮影した写真のうち、企業ロゴが分かるものを中心に、後日オンラインアルバムなどでご共有いたします。

広報・社内報などにご自由にご活用ください。

### 7. 報告会でのご紹介

MIT 帰国後に開催を予定している報告会にて、T シャツ協賛企業として企業名をご紹介いたします。2025 年 8 月に開催予定です。

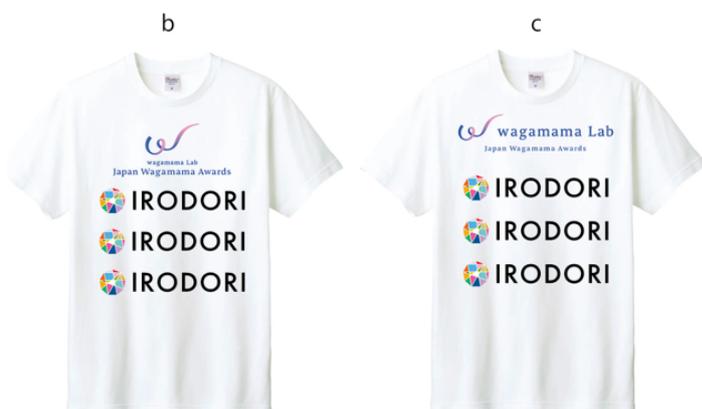
### 8. 開催報告書への掲載

Japan Wagamama Awards 2025 の開催報告書（PDF 形式）に、スポンサー企業としてロゴ・社名を掲載いたします。

報告書は、関係機関・教育機関・メディア・他協賛企業等へ配布予定です。

## ■デザインイメージ（仮案）

IRODORI のロゴが入っている場所に、協賛企業様のロゴが入ります。  
よりロゴが引き立つよう、デザインはこれから変更されます。



## ■着用イメージ



## 【お問い合わせ】

Japan Wagamama Awards 実行委員会  
IRODORI 株式会社 担当：永井 彩華  
メールアドレス：[jwa@irodori-group.jp](mailto:jwa@irodori-group.jp)

次のページにグランプリ受賞者の紹介と、制作したアプリの概要を添付します。

# Japan Wagamama Awards 2025

## グランプリ受賞者ご紹介



「たったひとりのワガママが、社会を動かす」本アワードのコンセプトを最も体現したチームに贈られる賞  
栃木県真岡市在住

栃木県立宇都宮東高等学校・附属中学校 中学3年生 佐野 帆那さん

アプリ名：ちょクック ～ちょっとの時間でcookするアプリ～

料理が好きだけれど忙しいお母さんのために、毎日の献立を考える負担を減らし、食品ロスを削減するアプリです。レシートの写真を撮るだけで、そこに記載された食材をもとにAIがレシピを提案。余った食材を無駄なく活用し、買い物の無駄も減らします。

CloudRunで画像からテキストを抽出し、ChatBotがレシピを生成。お母さんの食事準備の負担が減ることで家族の時間が増え、外に出る機会が増えることで地域も活性化する。そんな未来も目指したアプリです。



身近な家族の課題に真摯に向き合い、必要な解決策を高いレベルで実現した点が印象的でした。日々お母さんの様子を観察し、家事の負担を減らす方法を考え抜いたことが、アプリの構想につながっています。さらに、AIとOCR技術を活用し、レシートからレシピを提案する機能を独自に考案し、ほぼ自力で実装した点も評価。高度な技術を扱いながら使いやすさにこだわり、実現可能な形に仕上げた努力と創意工夫が支持され、技術力と実行力の両面で高く評価されました。



審査員  
永井 彩華

北海道東神楽町在住 中学3年生 福永 紗良さん

アプリ名：HapiFure

不登校の中学生が安心して友達をつくれるオンラインコミュニティアプリです。自分自身が不登校であり、学校に行けない孤独感を解消するために開発しました。同じ境遇の仲間とつながることで、孤立感を和らげ、支え合える環境を作ることが目的です。アプリではプロフィール登録を行い、気の合う人を探して1対1のチャットが可能。不登校の子どもたちが、毎日楽しく人とつながれるコミュニティをつくることを目指しています。



当事者だからこそ生まれた、本質的な課題解決のアプローチでした。不登校の子どもたちが安心してつながれる場をつくるというアイデアは、実際に必要なものを自ら形にしようとする強い意志が感じられます。これはMIT App Inventorのビジョンとも合致し、当事者が解決者へと転じる挑戦の場となりました。課題設定の解像度の高さや実装可能性、アプリへのこだわりと熱意が評価され、受賞につながりました。



審査員  
石原 正雄